

新年のご挨拶



農林水産省 農産局長

平形雄策

令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人日本植木協会の皆様には、日頃より植木をはじめとする花きの生産及び文化の振興にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響が継続するなか、燃油等の生産資材価格が急激に高騰するなど我が国の農業にとって厳しい1年となりました。日本植木協会の皆様におかれても、植木の生産や販売などにあたり様々な苦労があったことは、ストレッセーションの活性化などの花きの効能が人々から求められる人々が増え、観葉植物などの花きのホームユース需要が増加するといった状況がみられました。これは、ストレス軽減やコミュニケーションの花き文化の質の向上によるものと見てよい

められた結果であると思つております。

花きの消費拡大に向けては、このような潜在的な需要をしっかりと開拓することが重要であり、特に、花き消費の少ない男性や若者などの社会人層をターゲットに、家庭や職場における花き栽培の普及や、盆栽、切り花等の展示を実施しました。この成果として、日本政府出展全体として、参加国中唯一の国に与えられる栄誉ある国際園芸家協会賞を受賞し、我が国

の花き及び花き文化の質の高さを世界に示すことがで

り、工場緑化全国大会において『全国みどりの工場大賞』として表彰を行うこととしています。本年も引き続きこうした民間企業による緑化を促進する取り組みを進めてまいります。

さらには、昨年、一般の方々の身近な緑に対する関心の高まりや、樹木医等の技術者の異なるスキルアップの要請に応えるため、進士五十八東京農業大学名誉教授を学長にお迎えして、技術者の方々はもちろん一般の方々をも対象とした「グリーンエージュンラインアカデミー」というオンラインによる緑に関する総合的な講座を開講しました。開講に当たってはまた、毎年秋に開催している工場緑化全国大会は、関係者の皆様方のご理解・ご協力により、3年ぶりにまた、毎年秋に開催しておる総合的な講座を開講しました。開講に当たってはまた、多くの貴協会及び会員の皆様にとって実り多い年となりますことを祈念いたしまして新年のご挨拶と申します。

今年はさらに講座数を増やし環境緑化思想や技術

の普及・啓発に努めて参りたいと考えております。

現在、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsが社会全体の課題として取り組まれています。その17の目標のうち、12の目標において環境緑化が深く関係しています。特に近年は脱炭素社会の実現に向けた事業活動を進めてまいりたいと考えております。

また、毎年秋に開催しておる総合的な講座を開講しました。開講に当たってはまた、多くの貴協会及び会員の皆様にとって実り多い年となりますことを祈念いたしまして新年のご挨拶と申します。

今年はさらに講座数を増やし環境緑化思想や技術

の普及・啓発に努めて参りたいと考えております。

現在、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsが社会全体の課題として取り組まれています。その17の目標のうち、12の目標において環境緑化

が深く関係しています。特に近年は脱炭素社会の実現に向けた事業活動を進めてまいりたいと考えております。

また、毎年秋に開催しておる総合的な講座を開講しました。開講



緑育出前授業

いつも鹿児島県支部へのご支援ご協力をいただきありがとうございます。支部を代表して厚く御礼申し上げます。さて、県支部の活動状況ですが、現在鹿児島県支部は鹿屋地区6名、出水地区11名、鹿児島県地区と指宿地区がそれぞれ1名ずつと計19名で活動しています。主な活動として、夏季研修会をはじめ、緑育活動、地区ごとで集まり集計を行う可能供給量調査等を行い、忘年会を兼ねた総会で一年を締めくくります。夏季研修会については、昨今のコ

ども鹿児島県支部へのご支援ご協力をいただきありがとうございます。支部を代表して厚く御礼申し上げます。さて、県支部の活動状況ですが、現在鹿児島県支部は鹿屋地区6名、出水地区11名、鹿児島県地区と指宿地区がそれぞれ1名ずつと計19名で活動しています。主な活動として、夏季研修会をはじめ、緑育活動、地区ごとで集まり集計を行う可能供給量調査等を行い、忘年会を兼ねた総会で一年を締めくくります。夏季研修会については、昨今のコ

ども鹿児島県支部へのご支援ご協力をいただきありがとうございます。支部を代表して厚く御礼申し上げます。さて、県支部の活動状況ですが、現在鹿児島県支部は鹿屋地区6名、出水地区11名、鹿児島県地区と指宿地区がそれぞれ1名ずつと計19名で活動しています。主な活動として、夏季研修会をはじめ、緑育活動、地区ごとで集まり集計を行う可能供給量調査等を行い、忘年会を兼ねた総会で一年を締めくくります。夏季研修会については、昨今のコ



連載「自然に想う」

連載最終回 保護から保全へ

(一財)自然公園財団 専務理事

鳥居 敏男



◆プロフィール
1961(昭和36)年生 1984年環境庁(当時)入庁。上信越高原、瀬戸内海、釧路湿原、知床などの国立公園の現場管理に携わる。本省国立公園課長、自然環境計画課長などを経て、自然環境局長を最後に2021年退職。

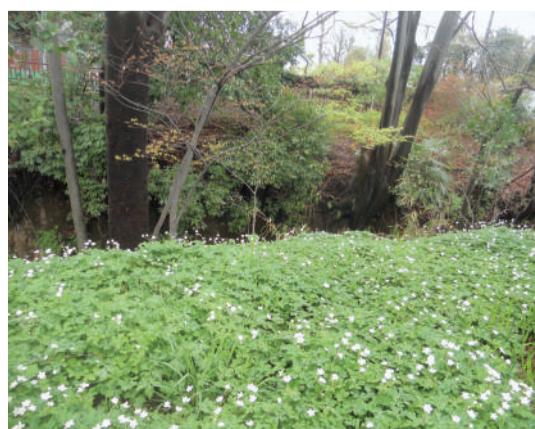
これまで6回にわたる連載で人と自然の関わりや個別の課題についてお話を進めてきました。最後となる今回は、これからのことについてお話をしたいと思います。

昨年12月にカナダのモントリオールで開催された生物多様性条約の締約国会議において、新たな世界目標が採択されました。その中には、締約国は2030年までに陸域や海域の少なくとも30%を保護地域とOECM(Other Effective area-based Conservation Measures)により保全するという目標が盛り込まれました。すでに日本を含むG7各国は、2021年の首脳会議でこの目標を合意文書に盛り込んでおり、2030年までに二酸化炭素排出量を46%削減する地球温暖化対策の目標と合わせて、その達成が重要な課題となっています。

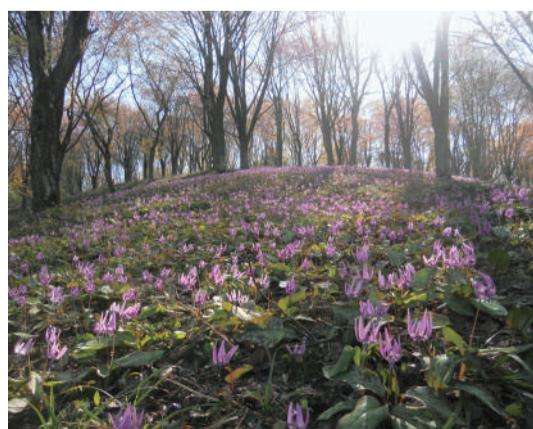
このOECMとは、噛み砕いていえば「法令等に基づかない民間の取組により保全が図られている地域や、結果として生物多様性の保全にも貢献している地域」を意味しています。国立公園など法令等を根拠とする保護地域の面積は現在国土の20.5%なので、あと国土の約1割に相当する地域を上積みする必要があります。様々な規制を伴う保護地域の拡張には限界があり、OECMのように他の土地利用とあわせて生物多様性の保全が図られるような地域をどのように確保し、増やしていくかが課題となります。そこで重要なのがOECMの名称にも含まれる「Conservation=保全」という概念です。国立公園のような傑出した自然の風景地や絶滅の恐れのある野生動植物を法令に基づいて「保護」するだけでは、生物多様性を維持していくには限界があります。身近な自然、人の手の加わった田畠や森林、草地、ため池、さらには都会の中にある緑地や公園などでも、例えば農薬の使用量を抑えて昆虫や水生生物が住める環境をつくったり、人工林であっても針葉樹と広葉樹を混ぜながら多様な樹種を植えるなどの工夫をして維持管理することで、生き物の住処としての機能を高めることができます。このように厳格な「保護」ではなく、賢く手入れをしてそこからの恵みを持続可能な形で得ていくことも「保全」という概念に含まれるのです。

環境省では、OECMの認定に向け、2023年度に100カ所の「自然共生サイト(仮称)」を試行的に選定し、その過程での課題等を踏まえた対策を講じ、2030年までの目標達成を目指すこととしています。対象となるのは、例えば入会地・共有地、企業が所有する森林緑地、社寺林といった地域が候補となるわけですが、どこでも該当するという訳ではありません。専門家からなる検討会では同サイトの選定基準案が、①境界・名称、②ガバナンス・管理、③生物多様性の価値、④管理に

写真：自然共生サイト(仮称)になり得る地域の例



都市地域の河畔林



よく手入れされた雑木林



明けましておめでとうございます。
日本植木協会員の皆様方におかれましては新春晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。有難うございました。

宮崎県支部の活動状況
1社のみになってしまい
ましたので残念ながら活動
ができない状況です。
ですので、今回簡単に
宮崎の魅力をお伝えした
ところです。

本年は、ピヨンピヨン拍子の飛躍、発展、向上に期待のうきぎ年です。皆様のご健勝、ご多幸な年となりますよう心からお祈り申します。

WBC2023日本代表侍ジャパン強化合宿宮崎ギャンプが決定、2月に大谷選手が出席されるのですが…と大盛り上がりです。コロナがまだ終息いたしませんが、心を元気してくれます。

豊かな自然、四季折々の花や緑、美味しい食材、神話のあるさと、またプロ野球やJリーグ等のキャンプ開催地としても有名です。

いとつております。

鹿児島県支部長

山内 憲治郎

(株)山内農園

鳥居 敏男

表：自然共生サイト(仮称)「生物多様性の価値」に関する9つの基準案(一部改変)

区域の全部または一部が、次のいずれかの価値を有すること。

1. 公的機関等に生物多様性保全上の重要性がすでに認められている場
2. 原生的な自然生態系が存する場
3. 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場
4. 在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が成立し、生態系サービスを提供する場
5. 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の場
6. 希少な動植物種が生息生育している場
7. 分布が限定されている、特異な環境に依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場
8. 越冬、休息、繁殖、採餌、移動など、動物の生活史にとって不可欠な場
9. 既存の保護地域または認定地域に隣接するもしくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連結性を高める機能を有する場

よる保全効果といった4つの項目で検討されています。表に示したのはこのうち③に関する基準案で、この中のいずれか一つに該当することが求められます。また選定されればそれで良いというわけではなく、生物多様性保全の機能が維持されるよう適切に管理していく必要があります。

法令に基づく保護地域は、行政が主体となって区域を設定し、指定の目的に支障となる行為を規制することになります。しかしOECMには民間の様々な立場の団体や個人が関わって維持管理がなされています。また例えば鎮守の森など都市部にも数多くの該当する地域が存在するでしょう。このような地域を幅広くOECMに認定することでその地域に関わる多様な団体、個人がより身近に自然や生物多様性の保全について考え、行動することに繋がることが期待されます。

これからは、保護から保全へ、希少なもの・貴重なものから身近なものへと視野を広げていくことが、より一層求められます。人工的に植えられた公園の林、街路、庭の樹木は、私たちの暮らしに潤いを与えてくれるだけでなく、生き物にとっても重要な住処となります。是非、このような視点も念頭に置いていただき、植木産業がこれからも発展されることを切に願っています。1年にわたり、お付き合いいただきありがとうございました。



無農薬・有機栽培の谷津田

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。

TEATIME 連載「私の趣味」7 最終回

丹下 幸雄
(株)瀬戸内園芸センター (愛媛県)

弊社は今まで「緑は地球を救う」をテーマに樹木を生産してまいりましたが、一步踏み出し、エシカルへの挑戦を始めました。

30年前から弊社農場には、pot 苗木1~2万本、

露地は数千本のオリーブの木を生育しております。もちろんそれらは樹木販売用に生産していたものなので、オリーブの実もそのまま落ちていくだけでした。しかし、近年の健康ブーム、また愛媛県が“しまなみオリーブ”的生産に力を入れていくという声を聞き、弊社も減農薬で栽培したオリーブから実や葉を収穫し、オリーブオイルや、オリーブ茶を生産

販売、そして飲食(カフェ)まで自社で行うこととしました。

カフェでは、「無駄なものは一つもない」をスローガンに、植物と食を通じて、地域の人と人のつながりを大切にしたみんなが笑顔になれる空間づくりを目指しています。地球に、身体にやさしいグルテンフリーのカフェです。こちらの方に来られた際はぜひお立ち寄りください。一年間お読みください、ありがとうございました。



スペインのオリーブ
樹齢3000年と言われています。



イタリアのオリーブ
樹齢約3000年と言われています。



弊社オリーブ畠。実を採り、搾油機でオリーブオイルを製造します。約6haの畠に約1万本のオリーブを植え付けました。



カフェの石庭(約300t)樹齢約500年のオリーブをシンボルツリーとして植栽しております。



3年振りの集合写真

等の説明もして頂きました。また、冬場に苗を入れる貯蔵冷蔵庫を見学させて頂きながら年間の管理作業を行いました。



有)大坂林業
計画生産を可能にする大規模冷蔵庫

そこで、大坂林業の工場見学を行いました。まず、大坂林業の工場見学を行いました。大坂林業では、効率よく大量のコンテナ苗を生産する工程について、圃場や会社のビデオ映像にて説明をして頂きました。実際に作業場、ハウス、冷蔵庫が整備され、圃場設計も進められ、苗木の選別口が実際に積まれた大量の新規設備投資・機械化が実現されました。また、冬場に苗を入れる貯蔵冷蔵庫を見学させて頂きながら年間の管理作業を行いました。

その後、山林苗の露地生産の圃場に行き、北海道らは非常に広大で北海道でも植栽出来るコニファー類やノリウツギ類、アメリカアジサイ等を中心に沢山の植物の植栽を見ることができました。コニファー類は、樹種によっては実際の植栽を見てみないと想像以上の大きさになるのですぐ参考になると思いました。園内にはエゾリスが駆け回り、すべての樹木が大きい庭園なので園内にある展望

2日目は最初に有)晴耕園苗畠さんの圃場を見学しました。晴耕園苗畠さんは主に山林苗を生産しています。カラマツ、トドマツ、クリーンラーチ(カラマツ)とゲイマツとを交配して開発されたもので、北海道に広く造林されているカラマツよりも炭素固定能が7%高く、木材生産や二酸化炭素吸収等、伐期を迎える樹種として期待されています。等のコンテナ栽培において、少人数での確実な生産を目指し不織布シートの使用やオーダーメイドの運搬棚を作成するなど作業改善の工夫を説明して頂きました。

今日は見られませんでしたが、実際に機械やロボット

2日目は最初に有)晴耕園苗畠さんは主に山林苗を生産しています。カラマツ、トドマツ、クリーンラーチ(カラマツ)とゲイマツとを交配して開発されたもので、北海道に広く造林されているカラマツよりも炭素固定能が7%高く、木材生産や二酸化炭素吸収等、伐期を迎える樹種として期待されています。等のコンテナ栽培において、少人数での確実な生産を目指し不織布シートの使用やオーダーメイドの運搬棚を作成するなど作業改善の工夫を説明して頂きました。

今日は見られませんでしたが、実際に機械やロボット

の動いている現場も見てみたいと思いまし

た。

北海道の秋とは思えないくらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

テナ苗の大量生産を行うた

めに作業場、ハウス、冷蔵

庫が整備され、圃場設計も

進められ、苗木の選別口

が実際に機械やロボット

が、品種の数ときれいな植

物画像に驚きました。

北海道の秋とは思えない

くらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

テナ苗の大量生産を行うた

めに作業場、ハウス、冷蔵

庫が整備され、圃場設計も

進められ、苗木の選別口

が実際に機械やロボット

が、品種の数ときれいな植

物画像に驚きました。

北海道の秋とは思えない

くらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

テナ苗の大量生産を行うた

めに作業場、ハウス、冷蔵

庫が整備され、圃場設計も

進められ、苗木の選別口

が実際に機械やロボット

が、品種の数ときれいな植

物画像に驚きました。

北海道の秋とは思えない

くらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

テナ苗の大量生産を行うた

めに作業場、ハウス、冷蔵

庫が整備され、圃場設計も

進められ、苗木の選別口

が実際に機械やロボット

が、品種の数ときれいな植

物画像に驚きました。

北海道の秋とは思えない

くらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

テナ苗の大量生産を行うた

めに作業場、ハウス、冷蔵

庫が整備され、圃場設計も

進められ、苗木の選別口

が実際に機械やロボット

が、品種の数ときれいな植

物画像に驚きました。

北海道の秋とは思えない

くらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

テナ苗の大量生産を行うた

めに作業場、ハウス、冷蔵

庫が整備され、圃場設計も

進められ、苗木の選別口

が実際に機械やロボット

が、品種の数ときれいな植

物画像に驚きました。

北海道の秋とは思えない

くらい暖かい天候にも恵ま

れて、非常に広大な北海道で

ここが本当に並んだ山林苗を見な

れた方にはこちらも楽しめ

ることができました。

次に訪問しました有)大坂

林業さんは、効率よく大

量のコンテナ山林苗を生産

する工程について、圃場や

会社のビデオ映像にて説明

をして頂きました。実際に圃場

を歩き見学しますと、コン

</